

図書室だより

vol.203

中央大学高校図書室

ベストリーディング 2024. 4～2024. 12



1位	『成瀬は天下を取りに行く』	宮島未奈（新潮社）	913.6-ミ-1
1位	『成瀬は信じた道をいく』	宮島未奈（新潮社）	913.6-ミ-2
3位	『同志少女よ、敵を撃て』	逢坂冬馬（早川書房）	913.6-ア
4位	『変な家』	雨穴（飛鳥新社）	913.6-ウ-1
4位	『変な絵』	雨穴（飛鳥新社）	913.6-ウ
6位	『時限病棟』	知念実希人（実業之日本社文庫）	B913.6-チ-2
6位	『5分後に意外な結末①赤い悪夢』	（学研プラス）	908.3-G-1
6位	『5分後に意外な結末②青いミステリー』	（学研プラス）	908.3-G-2
6位	『六人の嘘つきな大学生』	浅倉秋成（KADOKAWA）	913.6-ア
6位	『汝、星のごとく』	風良ゆう（講談社）	913.6-ナ
6位	『ジョブ型雇用社会とは何か』	濱口桂一郎（岩波新書）	S366.021-H
6位	『変な家2 11の間取り図』	雨穴（飛鳥新社）	913.6-ウ-2

今回はコミックと洋書は除外しましたが、今年度も英語科の「洋書を読んでみよう！」という課題があって、多くの人が図書室の本を利用していました。

ちなみに、コミックの上位は『怪獣8号』『ブルーピリオド』『憂国のモリアーティ』『ミステリと言う勿れ』『呪術廻戦』『チ。―地球の運動について―』でした。映画やアニメになっているので原作本としても楽しめますね！



☆図書委員が聞く あの先生のこの一冊☆

1年C組のY. Dが聞いた

藤生先生(英語科)のおすすめ本！

『ホワイトラビット』 伊坂幸太郎 著 新潮文庫

先生が本好きということを知っている人も多いと思います。小学生の時にファンタジー小説を読み、それがきっかけで読書の楽しさにハマリ、それ以来、先生にとって読書とは、主に「小説」に限られ、その目的はあくまでも「娯楽」であるそうです。

読書には無限の想像の余地がある。活字を追うしかない読書という行為においては自らの想像力こそが、自分を楽しませる唯一かつ最大の効果なのだ、と。

これらを踏まえた上で、読書の面白さ、楽しさを再認識させてくれた、好きな作品が『ホワイトラビット』（伊坂幸太郎）だそうです。

二つの事件が同時に進行し、我々読者はこの事件の行く末を追いながら、いつの間にか伊坂幸太郎の罠に嵌っている…

この作品を存分に楽しんで欲しいため、内容について詳しくは語らない。普段から本を読む人も読まない人も、読書でしか味わえない、“自分の想像力が騙される”感覚を生徒のみんなに楽しんでもらいたいとおっしゃっていました。

今回インタビューをしてみて、藤生先生は読書という娯楽を最後まで楽しんでいる人だと感じました。

時間がある人は是非『ホワイトラビット』読んでみてください。

新 着 図 書

書 名	著 者	出版社	請求記号
新版 外国人労働者受け入れを問う	宮島喬 他	岩波ブックレット	366.89-G
学校が子どもを殺すとき 「教える側」の質が劣化したこの社会で	渋井哲也	論創社	371.42-S
北海道新聞が伝える 核のごみ考えるヒント	関口裕士	北海道新聞社	539.69-S
ミシェル・フーコー	内田隆三	講談社学術文庫	B135.57-F
世界でいちばん透きとおった物語	杉井光	新潮文庫	B913-ス
未来倫理	戸谷洋志	集英社新書	S150-T
大坂堂島米市場 江戸幕府VS市場経済	高槻泰郎	講談社現代新書	S210.5-T
イギリス近代史講義	川北稔	講談社現代新書	S233.05-K
長州ファイブ サムライの倫敦	桜井俊明	集英社新書	S281.77-S
不平等を考える—政治理論入門	齋藤純一	ちくま新書	S311.1-S
カール・シュミット ナチスと例外状況の政治学	蔭山宏	中公新書	S311.234-K
迷走する民主主義	森政稔	ちくま新書	S311.7-M
民主主義とは何か	宇野重規	講談社現代新書	S311.7-U
くじ引き民主主義	吉田徹	光文社新書	S311.7-Y
現代民主主義	山本圭	中公新書	S311.7-Y
武器としての国際人権 日本の貧困・報道・差別	藤田早苗	集英社新書	S316.1-F
人権と国家	筒井清輝	岩波新書	S316.1-T
日米地位協定 在日米軍と「同盟」の70年	山本章子	中公新書	S319.1053-Y
ファクトで読む米中新冷戦とアフター・コロナ	近藤大介	講談社現代新書	S319.22053-K
ウクライナ戦争	小泉悠	ちくま新書	S319.38-K
ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか	高橋杉雄 編著	文春新書	S319.38-T
台湾有事 米中衝突というリスク	清水克彦	平凡社新書	S319.53022-S
憲法という希望	木村草太	講談社現代新書	S323.14-K
はじめての憲法教室—立憲主義の基本から考える	水島朝穂	集英社新書	S323.14-M
グローバリゼーション 移動から現代を読みとく	伊豫谷登士翁	ちくま新書	S333.6-I
日本銀行 我が国に迫る危機	河村小百合	講談社現代新書	S338.41-K
夢よりも深い覚醒へ—3.11後の哲学	大澤真幸	岩波新書	S361.1-O
人口減少と社会保障 孤立と縮小を乗り越える	山崎史郎	中公新書	S364.021-Y
ブルシット・ジョブの謎	酒井隆史	講談社現代新書	S366-S
アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」	中川裕	集英社新書	S382.11-N
自衛隊海外派遣	加藤博章	ちくま新書	S392.1076-K
沖縄の米軍基地	高橋哲也	集英社新書	S395.39-T
はじめて学ぶ環境倫理 未来のために「しくみ」を問う	吉永明弘	ちくまプリマー新書	S519-Y
原子力の哲学	戸谷洋志	集英社新書	S539-T
国際貿易法入門 WTOとFTAの共存へ	関根豪政	ちくま新書	S678.3-S

3年生の皆さんへ

最終貸出日が2/7（金）になります。ご注意ください。

授業で使用するものについては、別途対応しますので、申し出てください。

気になる本は、ぜひぜひ今のうちに手に取って読んでください。

学部ごとの授業になって、時間に余裕があるようです。図書室は開いていますので、どうぞ利用してくださいね。

登校する日が残り少なくなり、限られた日数ですが図書室での閲覧も大歓迎です。

なお、お手元に返却し忘れていた本はありませんか？ 卒業までに必ず返却してくださいね！